

授業科目名	乳児保育Ⅱ		科目コード	204047	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	3 年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)		
	実務経験内容 ・ 保育園にて園長 1 年 主任保育士 2 年の勤務。 ・ 保育者として様々な乳幼児や保護者に携わってきた経験や、介護教員等の教職の経験を活かし、具体的にわかりやすい授業を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 通年 ・ <input type="checkbox"/> 特別講義 ・ <input type="checkbox"/> その他		授業コマ数	15 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必 須 ・ <input type="checkbox"/> 選 択 ・ <input type="checkbox"/> 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	はじめて学ぶ乳児保育 改訂版			
	著 者	志村聡子編著			
	出版社	同文書院			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	松本園子編著 乳児の生活と保育 ななみ書房 2011 年				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 ・ <input type="checkbox"/> 実験 ・ <input type="checkbox"/> その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 3 歳未満の発育・発達の過程や、特性を踏まえた援助、関わりの基本的な考え方について理解する。 ・ 養護及び教育の一体性を踏まえ、3 歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境、乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 ・ 乳児保育における計画の制作について、理解する。					
<授業の概要・授業方針> ・ 0.1.2 歳児保育を具体的に理解するため、演習を通して具体的に理解できる授業を行う。 ・ 乳児保育の役割、乳児期の発達や子育て支援などの基礎的知識を習得し、乳児期の子どもへの対応や、保護者への支援など、保育者としての基本を学ぶことで、実践できる。					
<成績基準・評価基準> 授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度と試験（レポート）で評価します。 ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 成績評価 1. 試験・レポート 60% 2. 授業における発言を含む授業態度 30% 3. 出席状況 10%					

＜使用問題集・注意事項＞		
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞		
授業科目名		乳児保育Ⅱ
回	授 業 内 容	備 考
1	1.乳児保育の基本 (1)子どもと保育士等との関係の重要性	
2	(2)個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり	
3	(3)子どもの主体性の尊重と自己の育ち	
4	(4)子どもの体験と学びの芽生え	
5	2.乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践 (1)子どもの1日の生活の流れと保育の環境	
6	(2)子どもの生活や遊びを支える環境の構成	
7	(3)3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実践	
8	(4)3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助の実践	
9	(5)子ども同士の関わりとその援助の実践	
10	3.乳児保育における配慮の実践 (1)子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	
11	(2)集団での生活における配慮	
12	(3)環境の変化や移行に対する配慮	
13	4.乳児保育における指導計画	
14	5.乳児保育における計画の実践	
15	まとめ・理解度チェック	